

## 1 タイトル 1 動画について

こんにちは、松下です。

今回は、1 タイトル 1 動画について解説します。

1 タイトル 1 動画というのは、1 つの動画内に複数のテーマを入れないという意味になりますが、あなたがこれから YouTube で、大量にアクセスを獲得するためには、この概念は非常に重要になりますので、最後までしっかりとご視聴ください。

それでは、張り切って参りましょう！

まずは、こちらをご覧ください。

こちらは、動画の進行表になりますが、例えば、タイトルが「隅田川の花火がとても綺麗でした」とします。

そして、例えば動画内のシーン 1 が「あいさつ」、シーン 2 が「隅田川とスカイツリー」、シーン 3 が「夕日がとての綺麗」、シーン 4 が「屋形船で乾杯」、シーン 5 が「花火大会」、そしてシーン 6 が「最後に」という流れだったとします。

この動画は一見すると、隅田川の情報が満載で、とても楽しそうでアクセスが取れそうな動画に見えますが、タイトルを「隅田川の花火がとても綺麗でした」とした場合、シーン2と3と4はカットするべきでしょう。

なぜかというと、「隅田川の花火がとても綺麗でした」というタイトルを見て動画をクリックした観聴者の目的は「隅田川の花火」なので、シーン5以外の動画には興味がない可能性が高いからです。そうなってしまうと、シーン2と3と4は飛ばされて、動画の再生率が下がってしまい、結果的に、ビデオランクが上がらないという現象が起きてしまいます。

なので、タイトルを「隅田川の花火がとても綺麗でした」とした場合、動画のシーンは全て「花火大会関連」で統一する必要があります。

そして、シーン1の「あいさつ」とシーン6の「最後に」ですが、こちらはカットまではいきませんが、注意が必要になります。よくある話なのですが、自分はまだYouTuber初心者で、ほとんど知名度がないにも関わらず、人気YouTuberの真似をして、シーン

1の「あいさつ」とシーン6の「最後に」の部分を長々と語ってしまったYouTuberをよく見かけます。

しかし、これはあまりお勧めのやり方とは言えません。

なぜかというと、例えばシーン1の「あいさつ」を長々と語ってしまうと、視聴者から「そんな話はいいから早く本題に入ってくれよ」などと、そのシーンを飛ばされてしまう傾向にあり、ひどい時は動画を閉じられてしまうこともよくあるからです。

なので、知名度のない初心者の場合、シーン1の「あいさつ」は、手短に済ませ、長くても数秒程度に抑えたほうがいいでしょう。

そして、シーン6の「最後に」も、知名度のない初心者の場合は、ほとんど見られることはないので、長々と語ってしまうと再生率低下の原因となりますので、こちらも長くても数秒程度に抑えてください。

ちなみに、カットされたシーン2と3と4の動画は、それぞれ別々の動画にして、例えばシーン2でしたらタイトルを「隅田川とスカイツリー」などにして、隅田川とスカイツリーに特化した動画にす

ればいいですし、シーン3の「夕日がとても綺麗」とシーン4の「屋形船で乾杯」も、それぞれ別々の動画にし、それぞれに特化した動画として投稿したほうが効果的ということになります。

以上が、1タイトル1動画についての解説でしたが、いかがだったでしょうか？

あなたがこれからYouTubeで、大量にアクセスを獲得するためには、この1タイトル1動画という概念は非常に重要になりますので、ぜひ参考にしてください。

というわけで、今回は以上になります。

最後までご視聴いただき、ありがとうございました。